

子供たちの未来のために……………さあ、はじめよう。



平成18年度 秋田経済法科大学総合研究センター主催

シティカレッジ2006

CityCollege2006

後期公開講座9月29日スタート

会場／秋田経済法科大学・秋田栄養短期大学 明徳館高校ビル2階カレッジプラザ

秋田経済法科大学総合研究センター

〒010-8515 秋田市下北手桜字守沢46-1
TEL.018-836-6592・4531 FAX.018-836-6530
E-mail:scenter@akhu.jp URL:<http://www.akeihou-u.ac.jp/~center/>

後期シティカレッジ開講に向けて

音楽を習う人は多いが、生涯音楽をやり遂げる人は少ない。

ピアノでもヴァイオリンでも一緒であるが、音楽の練習自体はもともと面白くないから、ドレミから始まって和音へと進み、長調や短調を勉強し、シンフォニーやコンチェルトの美しい調べに到達するまでに、ほとんどの人が失速してしまう。

今年は、モーツァルト生誕250周年だ。小林秀雄に言わせれば、モーツァルトの音楽を聴く最悪な環境は演奏会場なのだそうです。

長谷川泰子と別れて大阪に出奔し、道頓堀をうろついているさなかに、彼の頭の中で、モーツァルトのあの有名なト短調のシンフォニーの第4楽章の旋律が、あたかも脳みそを傷つけるかのように鳴った。そういう意味で、音楽というのは、人生の一つの記憶だ。生活体験の無い子供達に、音楽は決して美しい音を鳴らさない。

音楽の入門は、最も美しい、人の心を揺り動かさざるにいかないような、質の高い音楽から入ることがよいと私は思っている。絵画でも学問でもそれは変わらない。

大学で行う授業は、音楽の練習と同じように大概面白くない。講義は、その学問の全体や概要を体系的に表面的に教えるからだ。そこでは学問の奥義や真髄は決して語られないのである。

このシティカレッジの講義は、学問を体系的に講義しようとするものではない。講師はそれぞれ最も得意とする、しかも、現代社会で問題とされているような生き活きたテーマを講義しようとするものである。

シティカレッジで聞く講演や講義は、美しい音を奏でるシンフォニーやコンチェルトであることを願っている。私たち講師陣も皆様とともに、いろいろなテーマについて疑問を持ち、ともに語り合えるような講義をしたいと思っています。

秋田経済法科大学学長
本学総合研究センター長

小 泉 健

◆平成18年度シティカレッジ後期公開講座のご案内◆

■ 受講資格

1. シティカレッジは、原則として16歳以上または高校生以上の方であれば、学歴を問わず、どなたでも受講できます。

■ <シティカレッジ>会場

後期公開講座は、「秋田経済法科大学及び秋田栄養短期大学(同一キャンパス内)」と「カレッジプラザ(明徳館高校ビル2階)」の2会場で開催されます。講座によって会場が異なります。お間違えの無いようお願いいたします。

■ 申込み方法(記入例を参考にしてください)

1. はがき・FAX・ホームページ(下記URL)の3通りでお申込みになれます。はがき・FAXの場合は、パンフレットに綴じ込みされている用紙をご利用ください。各講座とも開講日の前日まで、受付いたします。
2. 各講座とも定員となり次第締切らせていただきます。その際は、こちらからご連絡いたします。

■ 受講料(右頁講座日程表を参照のこと)

1. ①、②、④、⑤、⑥、⑦の③は無料です。③、⑦の①、②、⑧は有料です。講座によって受講料が異なります。
2. ⑧の教員採用候補者試験受験講座は、大学生以上が対象です。受験講座①と受験講座②は、個々に受講することができます。
3. シリーズ講座を途中から受講したい場合は、係までお問い合わせください。

■ 受講料の支払い方法

綴じ込みの銀行振込依頼書をお使いください。指定期間内(9月19日～12月15日)は、手数料はかかりません。各講座とも開講の前日までお振込みいただけます。

■ お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、お気軽に係までお問い合わせください。

秋田経済法科大学総合研究センター

〒010-8515 秋田市下北手桜字守沢46-1

TEL 018-836-6592・4531 FAX 018-836-6530 E-mail scenter@akhu.jp

URL <http://www.akeihou-u.ac.jp/~center/>(ホームページでもシティカレッジのご案内をしています。)

■ 一般の方が受講する場合の特典

シティカレッジを30コマ以上受講された方には、シティカレッジの第1期修了証をさしあげます。

例えば、③の講座は、1回なので1コマです。⑧の①講座は12回なので12コマと数えます。

コマ数は、年度をまたがって累積できます。第1期は平成17年度から平成19年度までです。

⑥の無料法律相談会は、コマ数にカウントされません。

■ 受講に際して

1. 本学の学生は身分証明証を提示してください。
2. 教室内での喫煙・飲食はご遠慮ください。
3. 講座の際は講師の指示に従い、良識ある態度での受講をお願いします。
4. 講師の急病、事故等で休講する場合は原則として補講を行います。同理由でやむを得ず閉講する場合は、閉講回数に基いた受講料を返却いたします。

【その他の総合研究センター主催講座について】

本学総合研究センターには、経済研究所、法学研究所、教養・文化研究所、雪国民俗館、ビジネスセンターの5つの研究機関があります。各研究所では、10月19日 武井勲先生(リスク・マネジメント)のご講演会をはじめとして様々な学術講演会や研究発表会を開催しております。(10月から来年1月まで予定しております。)詳細は、総合研究センターまで、お気軽にお問い合わせください。

◆講座日程表◆

	講座名	講師名	日 程	会 場	回数	受講料
①	一周年記念講演会 ①離婚の時代 ②国際的な人の移動と人口減少社会 ③新時代の会社経営	学校法人秋田経済法科大学 理事長・学長 小泉 健氏 本学経済学部 経済研究所長 藤本 剛氏 本学法学部長補佐 法学研究所長 道端 忠孝氏	9月29日 12時30分開場 午後1時～5時 ①午後1時開講 ②午後2時30分開講 ③午後3時50分開講	秋田経済法科大学 40周年記念館 271番教場	1回	無料
②	講演会 ①日本の政治・メディアそして秋田 ②新政権の展望・日本そして秋田の未来	白鷗大学教授 本学客員教授 福岡 政行氏	①10月13日 午後2時40分開場 午後3時開講 ②10月14日 午前9時30分開場 午前10時開講	①秋田経済法科大学 40周年記念館 271番教場 ②カレッジプラザ 講堂	各1回	①無料 ②無料
③	総合研究センター主催 第1回シンポジウム 未来をつくる若者たち	本学理事長・学長 小泉 健氏 本学客員教授 福岡 政行氏 脚本家・本学客員教授 内館 牧子氏 東京大学非常勤講師 本学客員教授 野口 秀行氏	11月11日 12時30分開場 午後1時～5時30分	秋田経済法科大学 40周年記念館 271番教場	1回	1,000円
④	民俗学講演会・パネルディスカッション 村の変革と民俗 —急激な民俗の変容から—	秋田栄養短期大学教授 雪国民俗館館長 鎌田 幸男氏 他	12月15日 午後1時～5時	秋田栄養短期大学 101番教室	1回	無料
⑤	21世紀のまちづくり	本学客員教授 野口 秀行氏	12月16日 午後1時～2時30分	秋田栄養短期大学 101番教室	1回	無料
⑥	無料法律相談会	本学理事長・学長 小泉 健氏 本学法学部長補佐 道端 忠孝氏 本学法学部専任講師 斎田 統氏 他	①1月12日 午後2時～6時 ②3月2日 午後2時～6時	カレッジプラザ 講義室	2回	無料
⑦	①親と子のライフデザイン講座 ②女性のためのキャリアデザイン講座 ③充実した新年に向けて！ タイムマネジメント講座	秋田コーチング オフィス代表 本学総合研究センター 研究員 熊谷 朋子氏	①10月4日・11日・18日・25日 各水曜日午前10時30分～12時 ②11月1日・8日・15日・22日 各水曜日午後6時30分～8時 ③12月6日・13日 各水曜日午後6時30分～8時	カレッジプラザ 講義室	①4回 ②4回 ③2回	①2,000円 ②2,000円 ③無料
⑧	教員をめざす！ 教員採用候補者試験 のための受験講座①②	本学教養部専任講師 佐々木久吾氏 本学総合研究センター 主任研究員 加藤 茂行氏 本学総合研究センター 主任研究員 石井 徳幸氏	①10月6日・13日・20日・27日・ 11月10日・17日・24日・ 12月1日・8日・15日・ 1月12日・26日 各金曜日午後2時40分～4時10分 ②10月6日・13日・20日・27日・ 11月10日・17日・24日・ 12月1日・8日・15日 各金曜日午後4時20分～5時50分	秋田経済法科大学 ①経済403番教室 ②経済405番教室	①12回 ②10回	①、②とも 一般 3,000円 本学学生 無料

離婚の時代

- ◆ 講師／小泉 健
- ◆ 会場／秋田経済法科大学 40周年記念館 271番教場
- ◆ 開講日時／9月29日（金）12時30分開場 午後1時開講

● プロフィール ●

＜現職＞学校法人 秋田経済法科大学 理事長・学長

秋田栄養短期大学学長・総合研究センター長・弁護士

＜履歴＞仙台・秋田地方検察庁検事

秋田弁護士会副会長

秋田経済法科大学 法律政治研究所長

学校法人 秋田経済法科大学 常務理事

● 講演内容 ●

これまでは3組に1組が離婚する時代であったが、離婚率が4割に近づこうとしている。男と女の間がうまくいかなかったのは、なぜであろうか。

日本でも、法制度としての離婚が変革期にある。これまで、法律上の離婚をするためには、破綻させた原因である責任が前提であったが、現在ではうまくいかない夫婦は離婚を認めるべき、という考え方に変わった。いわゆる破綻主義である。トルストイもソクラテスもモーツァルトも孔子も妻とは折り合いが悪かった。男女のさがは変わらないのだろうか。法制度の見直しがされようとしている今、もう一度男女の問題を考えてみたい。

国際的な人の移動と人口減少社会

- ◆ 講師／藤本 剛
- ◆ 会場／秋田経済法科大学 40周年記念館 271番教場
- ◆ 開講日時／9月29日（金）午後2時30分開講

● プロフィール ●

＜現職＞秋田経済法科大学 経済学部長

本学総合研究センター 経済研究所長

＜履歴＞東北大学大学院 経済学研究科博士課程 満期退学

秋田経済法科大学 経済学部教授

本学就職部長・経済研究所長

● 講演内容 ●

少子高齢化が進む秋田県。地域の力を維持しさらに強めるために、さまざまな取り組みがおこなわれています。企業の活性化、若者に魅力ある街づくり、観光産業や農業の振興、出産・育児の環境整備などなど。

他方、この20年ほどの間にわが国が、アジア各地からの労働力や南米日系人労働力の受け入れ国となって、その数が増大してきていることもご存知でしょう。少子化による労働力不足を外国人労働力で補えばいいと言う単純な話ではありませんが、国がひとつの手段として位置づけていることは確かです。観光、ビジネス、出稼ぎ、移民など、さまざまなレベルで国際的な人の移動は活性化しており、国内では比較的縁の薄かった秋田県も、もはや国際化の波に洗われつつあります。

人に優しい温もりのある秋田県は、国際的にも開かれた秋田県であるはずです。さまざまな少子化対策を進めて暮らしやすい秋田県を目指しながら、県民ひとりひとりが国際化への意識を高めて行くには....。

国際的な人の移動の現状や、各国の事情なども参考にしつつ、共に考えてみたいと思います。

新時代の会社経営 —新会社法の成立とその活用を考える！—

◆ 講師／道端 忠孝

◆ 会場／秋田経済法科大学 40周年記念館 271番教場

◆ 開講日時／9月29日（金）午後3時50分開講

● プロフィール ●

＜現職＞秋田経済法科大学 法学部長補佐

本学総合研究センター 法学研究所長

役員事務室参与（広報担当）

＜履歴＞東洋大学大学院 法学研究科博士課程修了

秋田経済法科大学 学生部長

● 講演内容 ●

平成17年6月、新会社法が成立し、既存の商法、有限会社法等の会社法制を統一するとともに、大幅に改正しました。新法の大きな特徴は、①有限会社法を廃止し、株式会社と有限会社を一つの会社類型として統合したこと、②新たな会社類型として合同会社を創設したこと、③会社経営の機動性・柔軟性・健全性を向上・確保させたことなどが挙げられます。この新会社法をいかに活用し、新時代の会社経営を行なうか？

日本の政治・メディアそして秋田

- ◆ 講師／福岡 政行
- ◆ 会場／秋田経済法科大学 40周年記念館 271番教場
- ◆ 開講日時／10月13日（金）午後2時40分開場 午後3時開講

● プロフィール ●

＜現職＞白鷗大学 法学部教授
立命館大学 客員教授
秋田経済法科大学 総合研究センター 客員教授
＜履歴＞早稲田大学大学院 政治学研究科博士課程修了
駒澤大学 法学部助教授

● 講演内容 ●

自民党総裁選とは何だったのか。安倍政権で日本はどう変わるのか。政治は安定するのか。靖国や北朝鮮はどうなるのか。小沢民主党は、立ち直れるのか。そして、地方の格差はどうなるのか。
今の日本のテレビも、少し変だ。あまりにもふざけている。どうするのか。
人口減の秋田県は元気になれるのか。秋田の学生と、10年後、20年後の秋田を語り合いたい。

新政権の展望・日本そして秋田の未来

- ◆ 講師／福岡 政行
- ◆ 会場／明德館高校ビル2階 カレッジプラザ講堂
- ◆ 開講日時／10月14日（土）午前9時30分開場 午前10時開講

● 講演内容 ●

自民党の安倍政権で、日本はどう変わるのか。靖国神社や北朝鮮の拉致問題はどうか。安倍で地方の格差是正はできるのか。この政権の行く末。来夏、参院選で小沢民主党は逆転できるのか。日本の政党政治の行き詰まりを聞きたい。
一方、日本の地方におけるコミュニティーの崩壊や家庭の崩壊。人口減時代の下で、秋田県はどうすればいいのか。秋田の元気を社会人の方々と語り合いたい。

無料法律相談会

- ◆ 主 催 秋田経済法科大学総合研究センター
- ◆ 日 時 平成19年1月12日(金)・3月2日(金) 午後2時～午後6時
- ◆ 会 場 シティカレッジ(秋田市中通明德館高校ビル2階)

- ◆ 相談員 学校法人秋田経済法科大学理事長・弁護士 小 泉 健 氏
秋田経済法科大学長・秋田栄養短期大学長

秋田経済法科大学 法学部長補佐 道端 忠孝 氏
本学 総合研究センター法学研究所長

秋田経済法科大学 法学部専任講師 齋 田 統 氏
本学 総合研究センター法学研究所員

- ◆ 相談内容
 - 1. 土地・建物
 - 2. 借金・サラ金
 - 3. 結婚・離婚
 - 4. 相続・年金分割・遺言の仕方・安心老後のための財産管理
 - 5. 親子関係・親族関係
 - 6. 各種紛争調整

—対象は、個人から企業まで— 数々の難問・トラブルを解決してきた実務経験豊かな相談員が誠意を持って対応します。個人情報に関しては、秘密を厳守します。

◆ 申込み方法

事前に予約が必要です。お気軽にお問い合わせください。受付期間は、下記のとおりとなりますが、定員になり次第、締切らせていただきます。

【申込受付期間】

1月12日分：平成18年12月1日(金)～平成19年1月11日(木)

3月2日分：平成19年2月1日(木)～平成19年3月1日(木)

※土日、祝祭日、大学休業期間を除く 受付時間：9時～17時まで

◆ お問い合わせ、お申し込み先

秋田経済法科大学総合研究センター
無料法律相談会係
TEL 018-836-6592.4531
FAX 018-836-6530
E-MAIL scenter@akhu.jp

秋田経済法科大学 総合研究センター主催 シンポジウム第1回 「未来をつくる若者たち」

◆ 日時／11月11日（土）午後12時30分開場 午後1時～5時30分

◆ 会場／秋田経済法科大学 40周年記念館 271番教場

◆ 主旨

若者たちは教育を通じて、社会で生きていくための基礎を身につけ、自己を確立する。そして自分
なりの夢を描き、それをもとに生き方を選択し、自己実現をはかるのである。

しかし今、そうした生き方が崩れつつある。学級崩壊、不登校、非行の低年齢化、ニート、フリー
ターの増加。自分自身の生き方をいつまでも選択できず、社会の中に自分の居場所を見出せない若者
たち。

日本の未来をになうべき彼らに向けて、夢を実現させ、力強く生きるための助言を贈る。

◆ 基調講演

講師 白鷗大学教授・本学客員教授

福岡 政行 氏

◆ ディスカッション「未来をつくる若者たち」

司会 本学理事長・学長

小泉 健 氏

講師 白鷗大学教授・本学客員教授

福岡 政行 氏

脚本家・本学客員教授

内館 牧子 氏

東京大学非常勤講師・本学客員教授

野口 秀行 氏

● シンポジウム「未来をつくる若者たち」に向けて ●



◆ 小 泉 健 氏

現代の学生はだめだという人は多いが、私はそうは思わない。そういう人達は、目的もなく大学に入った多数の学生を見ているからだ。いつの時代にあっても、少数だけれども、人生の目的と情熱を持って、大学に入ってくる学生はいる。

私は、現代社会は非常に恵まれた時代であると考え。世に出る機会が多く、決して小澤征爾がやったように、スクーターを片手に貨物船に乗ってヨーロッパに行く必要はないのだ。

情報もチャンスも格段に違うから、これからの青年が、私達の想像もつかないような成果を挙げしてくれることと思う。



◆ 福 岡 政 行 氏

「日本の若い人は、元気がないネ」「いつも駅やコンビニの前で座り込んでるネ」こんな声を外国の友人によく聞かされる。「礼儀もネ…。シルバーに優しくない…」とアジアの友人が。

わがままで、すぐ怒り、キレることが若者の形容詞ではない。目標とか夢がないのか。何かに、打ちこめ。汗をかくて頑張れ。ダラダラするな。色々な人と触れあって、汗と涙を流せ。人生は面白い。

色々な出会いがある。“つまずいたって、いいじゃないか、人間なんだから”さ！



◆ 内 舘 牧 子 氏

私はこの3月まで3年間、東北大学の大学院で学びました。そして、同大学の相撲部監督としても活動してきました。

結果、若い人を見る目が、コロッと変わりました。本当にコロッとです。メディアが流す情報を鵜呑みにして、若い人に絶望していた自分を恥じています。日本は捨てたものじゃありません。

もちろん、昔の若者の方がよかった部分もありますし、今日はそのあたりもお話できればと思っています。



◆ 野 口 秀 行 氏

我が国は、現在の急速な少子高齢化に加え、2006年をピークに世界に先駆けて人口減少社会に突入することになります。西暦2100年の我が国の人口は6414万人（中位推計）と推計されますが、これは昭和初期の人口規模ということになります。当然ながら我が国の潜在経済成長率の低下が懸念されています。もはや海外からの移民を受け入れることに躊躇する余裕はないと言えましょう。そうなれば、21世紀の日本は、異なる民俗・宗教・言語・文化が共存する多様な社会を迎えることになると考えられます。みなさんは、このことをどう捉えていますか。ワクワクするような面白い社会が現出すると期待を持って迎えることが出来るのでしょうか。それとも……。

民俗学講演会・パネルディスカッション 村の変革と民俗 ―急激な民俗の変容から―

◆ 会場／秋田栄養短期大学101番教場

◆ 開講日時／12月15日（金）午後1時～5時

◆ 講師・司会

秋田栄養短期大学教授・秋田県民俗学会長

秋田経済法科大学総合研究センター 雪国民俗館長

鎌田 幸男 氏

◆ パネリスト

秋田栄養短期大学助教授・文学博士・秋田県民俗学会理事

平 辰彦 氏

秋田県立博物館副館長・秋田県民俗学会員

嶋田 忠一 氏

秋田県民俗学会事務局長・NPO日本民俗経済学会理事

斉藤 壽胤 氏

● 講演会・パネルディスカッションの概要 ●

【村の変革と民俗―急激な民俗の変容から―】

1960年以降の高度経済成長の波は、日本の産業構造に変革を及ぼした。ことに農村に於いては離農化・生産労働人口の大都市への流出―過疎化現象を生ずる要因となった。いわゆる村が変革したのである。

村の象徴ともいえる萱葺きの曲家―居住空間・土間庭空間・内厩空間が姿を消した。すなわち牛馬がいた内厩、主に作業場であった土間庭、構造上そして信仰的にも重要であった大黒柱、暮らしの中心的存在であり同時に家風を築いた場でもある囲炉裏がなくなったことである。そして農作業は、牛馬を使用しての手作業から農業機械化の時代を迎えることになる。それまでのユイ（結）や手間替えなど班・組を編成しての共同作業から個別的・家族的な作業へと移行したことを意味する。また村内における社会組織や慣習にも影響を及ぼした。機械化による農作業の技術的な変革を第一義的変容とすれば、村内における人々の社会的な結びつきや暮らしぶり（生活様式）は第二義的変容とみることができる。

村の暮らしは「民俗の古型」と考え得るが、急激な村の変革はその文化を変容させてしまった。本講座では、こうした諸問題を取り上げ、「村の変革と民俗」を考えようとするものである。

21世紀のまちづくり

- ◆ 講師／野口 秀行
- ◆ 会場／秋田栄養短期大学101番教場
- ◆ 開講日時／12月16日（土）午後1時～2時30分

● プロフィール ●

＜現職＞野口秀行事務所代表

秋田経済法科大学 総合研究センター 客員教授
東京大学工学部・法政大学大学院・亜細亜大学大学院
東京工業大学大学院 非常勤講師

＜履歴＞九州大学経済学部卒業

日本政策投資銀行企画部次長・同行地域政策研究センター 主任研究員
(株)日本インテリジェントトラスト常務取締役 開発総合研究所所長

● 講演内容 ●

私たちは、戦後一貫して効率的な経済システムを作り上げることに力を注いできました。その結果、世界でもっとも富める国の一つに数えられるまでになりましたが、その経済至上主義の影で切り捨ててきたものも多く、人々は豊かさを実感することが出来ずにいます。従来のまちづくりは、土地価格の右肩上がりを前提とし、可能な限り自由に土地利用を進めさせ、高度利用を図り、積極的開発を行っていかうとするものでした。

地価の右肩上がりが終焉した今日、これを機にまちづくりを事業型都市計画から規制型都市計画に転換させるとともに、官主導型のまちづくりから民間主導型のまちづくりへ、パートナーシップをベースにしたコミュニティが主役となるまちづくりへの転換が強く求められるようになっていきます。

21世紀の私たちのまちづくりを一緒に考えて見ませんか。

親と子のライフデザイン講座

◆ 対象／乳幼児から中学生をもつ親御さんなど

◆ 講師／熊谷 朋子

● プロフィール ●

＜現職＞秋田コーチング・オフィス代表

秋田経済法科大学 総合研究センター研究員

＜資格等＞社団法人日本産業カウンセラー協会認定産業カウンセラー

同協会認定 キャリアコンサルタント

特定非営利活動法人日本コーチ協会 正会員

● 講座内容 ●

お子さんのやる気をサポートしながら、親としてのライフデザインをどのように描いて、実践をしていくことをテーマにした講座です。

お子さんにとって周りの大人はその可能性を引き出すコーチです。

前半は、お子さんの可能性を引き出していくこと、そしてお子さんが力強く生きていく力をつけるために必要なことをテーマに学びます。

後半は、親御さんに焦点を当てて、ひとりの人間としてどのように毎日を充実させ、どのようなライフデザインを描きたいのかを考え、そして実際に行動に移していく方法がテーマになります。

回 数	テーマ	講義の内容
1 回目 H18.10.4 (水) 10:30～12:00	親は子どもの最高のコーチ	お子さんの可能性を引き出していくことと、そのかわり方について
2 回目 H18.10.11 (水) 10:30～12:00	力強く生きていくために必要なこと	お子さんが力強く生きていくために必要な考え方について
3 回目 H18.10.18 (水) 10:30～12:00	親としての毎日の充実を考える	お子さんにとっての人生のモデルは親御さんです。親御さんご自分の毎日の充実について考えます。
4 回目 H18.10.25 (水) 10:30～12:00	親と子のライフデザインについて	親と子のライフデザインについて考えます。

女性のためのキャリアデザイン講座

◆ 対象／年齢を問わず学生から社会人一般のかた

◆ 講師／熊谷 朋子

● 講座内容 ●

時代は急速な変化をしています。

そして多様な価値観が認められるようになり、ひとりひとりの選択の幅が広がってきています。

そのなかで、女性の活躍が注目をされています。

生きたいように生きることが可能になりつつある現代において、社会の情報に惑わされずに、自分自身を大切にしたいキャリアデザインを描き、それを実践していくことがこれから、ますます求められるようになります。

そのために自分らしく生きるとはどんなことか、どんなことがしたいのかを確認することが大切です。

変化をチャンスととらえること、そして今もっている資源を大切にしながら、キャリアデザインを構築していきます。

回 数	テーマ	講義の内容
1 回目 H18. 11. 1 (水) 18:30~20:00	キャリアデザインとは	キャリアデザインについて考えます。 「自分らしく」とはどんなことかを見つめます。
2 回目 H18. 11. 8 (水) 18:30~20:00	現在を最高の時間にする方法を考える	現在「もし～たら」「～があれば」と考えて、行動に移せないことがあればそれはどんなことですか。 「今」の状況にたくさんの資源が眠っています。それを探す方法を考えます。
3 回目 H18. 11. 15(水) 18:30~20:00	キャリアデザインを描く	どんなことをしたいのか、どんなことが好きなのかを見つめていきます。 実際に理想のキャリアデザインを描いていきます。
4 回目 H18. 11. 22(水) 18:30~20:00	理想のキャリアデザインに近づく方法を考える	理想のキャリアデザインを描いて、あとは近づくための行動をする段階です。 どんなことが今できるか、どのようなことから始めるか、などを実際の方法を考えてきます。

充実した新年に向けて！タイムマネジメント講座

◆ 講師／熊谷 朋子

● 講座内容 ●

時間はすべての方に平等です。そしてその使い方によって人生は変わってきます。

タイムマネジメントとは、エネルギーのマネジメントともいわれています。

やりたいことを明確にして、やりたいことを実際に実行していく充実した時間を過ごすためにできることを考えていきます。

充実した新しい年を迎えるために、タイムマネジメントのヒントを盛り込んだ講座です。

回 数	テーマ	講義の内容
1 回目 H18. 12. 6(水) 18:30~20:00	タイムマネジメントとは	タイムマネジメントについて考えます。 現在の時間の使い方を見直します。
2 回目 H18. 12. 13(水) 18.30~20:00	やりたいことをどんどん実行に移していくには	どんな過ごし方をしたいのか、どんなことをしたいのかを考え、そしていつやるのかを決定していく方法を学びます。

教員をめざす！教員採用候補者試験のための受験講座①・②

◆ 会場／秋田経済法科大学 講座①経済４０３番教室 講座②経済４０５番教室

◆ 開講日時／１０月６日（金）４時限・５時限よりスタート

◆ 講師／佐々木 久吾

● プロフィール ●

〈現職〉秋田経済法科大学 教養部専任講師

〈履歴〉秋田県青年の家 所長

秋田東高等学校 校長

秋田中央高等学校 校長

◆ 講師／加藤 茂行

● プロフィール ●

〈現職〉秋田経済法科大学 総合研究センター 主任研究員

〈履歴〉秋田県立能代西高等学校 教頭

秋田県立二ツ井高等学校 校長

◆ 講師／石井 徳聿

● プロフィール ●

〈現職〉秋田経済法科大学 総合研究センター 主任研究員

〈履歴〉秋田県立能代西高等学校 校長

秋田県教育委員会 学校指導員

● 講座内容 ●

教員に求められる資質とは、どのようなものでしょうか。秋田県教育委員会によると「教育者としての使命感、教育的愛情、人間の成長・発達についての深い理解力」が、まず必要であるとされています。次いで、「教科などに関する専門的な知識、幅広い教養、得意分野を持つ個性の豊かさ」等が挙げられています。

つまり、知育を授ける能力よりも、思いやりの心や人間性を高め、他者との連帯を通じて変化の激しい現代社会を生き抜いていくための力を、児童生徒に育成させていくための能力が、もっとも必要であるとされているのです。このような能力を培うためには、学生生活の早い段階から、教員志望者にとって必要な勉強を始めるべきでしょう。

本講座は、まず教員採用候補者試験に必要な一般教養や専門知識について学びながら、教員として求められる資質やその心構え等についての、受講者一人一人の考えを深め、確実に力をつけていくための講座です。

● 講座予定表 ●

教員をめざす！教員採用候補者試験のための受験講座①【一次試験対策】			教員をめざす！教員採用候補者試験のための受験講座②【二次試験対策】		
回数	テーマ	日 程	回数	テーマ	日 程
第 1 回	一次試験とは	10 月 6 日 4 時限	第 1 回	二次試験とは	10 月 6 日 5 時限
第 2 回	教育法規Ⅰ	10 月 13 日 4 時限	第 2 回	論作文Ⅰ	10 月 13 日 5 時限
第 3 回	教育法規Ⅱ	10 月 20 日 4 時限	第 3 回	論作文Ⅱ	10 月 20 日 5 時限
第 4 回	教育法規Ⅲ	10 月 27 日 4 時限	第 4 回	論作文Ⅲ	10 月 27 日 5 時限
第 5 回	生徒指導Ⅰ	11 月 10 日 4 時限	第 5 回	模擬授業Ⅰ	11 月 10 日 5 時限
第 6 回	生徒指導Ⅱ	11 月 17 日 4 時限	第 6 回	模擬授業Ⅱ	11 月 17 日 5 時限
第 7 回	教育時事 問題Ⅰ	11 月 24 日 4 時限	第 7 回	模擬授業Ⅲ	11 月 24 日 5 時限
第 8 回	教育時事 問題Ⅱ	12 月 1 日 4 時限	第 8 回	面接Ⅰ	12 月 1 日 5 時限
第 9 回	教育時事 問題Ⅲ	12 月 8 日 4 時限	第 9 回	面接Ⅱ	12 月 8 日 5 時限
第10回	学習指導 要領Ⅰ	12 月 15 日 4 時限	第 10 回	総括	12 月 15 日 5 時限
第11回	学習指導 要領Ⅱ	1 月 12 日 4 時限			
第12回	総括	1 月 26 日 4 時限			

※教員をめざす！教員採用候補者試験のための受験講座①・②は、どちらかの講座のみ申し込むことも可能です。

※講座の内容については一部変更になる場合があります。なお講座のテキストや参考文献については授業時に紹介し、また適宜プリントを配布します。

秋田経済法科大学

附属幼稚園・附属保育園

〒010-0065 秋田市茨島四丁目1番20号

TEL 823-4540

FAX 863-4918



園舎全景

創造力と命を大切に
心を育むために

教育方針と目標

本学園の建学の精神である「真理・調和・実学」の理念のもとに、子どもたちが丈夫な身体と沢山の遊びや体験を通して自らの豊かな感性を養います。多くの仲間たちと手をたずさえながら、意欲的な活動を通して友だち同士の思いやりと感謝の心を育て、のびのびとした自己表現のできる子どもの育成を目標としています。

教 育 目 標

1. 明るく元気な心と体をもつ子ども
2. 感じたこと、考えたことをのびのびと表現できる子ども
3. 物事をしっかり見たり聞いたり考えたりする子ども
4. きまりを守り、友だちと協力して遊べる子ども

幼保一体化 保育園・幼稚園 いっしょの大きなお家…

就学前のすべての子どもに、保育・教育を等しく提供するとともに、親や地域の子育て力の向上を目指します。

※平成17年4月、秋田県幼保一体化推進事業による『幼保一体化研究モデル園』に指定。

食育教育の充実

子どもたちの強固な心身の育成には、望ましい食生活と健全な食行動が求められています。子どもたちが楽しみながら食事のできる環境を整え、「安全・安心」な食事を完全給食を通じて提供していきます。

管理栄養士・栄養士・調理員の専門スタッフが協働体制のもとで子どもたちの健康作りに務めていきます。



給食風景

秋田経済法科大学

附属さくら幼稚園

〒010-0058 秋田市下北手桜字新桜谷地2番地
TEL・FAX 834-2957
中央交通バス 経法大線大学寮前

教育方針

本学園の精神的バックボーンとして偉大な郷土の先覚者佐藤信淵翁の“実学の精神”と創立者古田重二良先生（下北手寒川出身）が唱導してやまなかった“報恩感謝”を具現できる人間形成を目指しています。

「健康でたくましく感性豊かな」幼児の育成をねらいとして、次の目標があります。

1. 明るい心と強い体をもった子ども
2. 感じたことや考えたことをのびのびと表現する創造力や感受性の豊かな子ども
3. 物事を正しく見たり聞いたり考えたりできる子ども
4. きまりを守り、友だちと協力して遊べる子ども

園の特色

1. 食育教育の充実

子どもたちの強固な心身の育成には、望ましい食生活と健全な食行動が求められています。子どもたちが楽しみながら食事のできる環境を整え、「安全・安心」な食事を完全給食を通じて提供していきます。

管理栄養士・栄養士・調理員の専門スタッフが協調体制のもとで子どもたちの健康作りに務めていきます。
(平成18年9月より実施)

2. 大学附属として、学園の他施設の利用や豊富な教授陣の援助が得られる総合的な教育環境にあります。

3. 教育実習指定園として、幅広い人間関係を持つことができます。その他、大学の文化系サークルの発表の場や附属高校野球部や他のクラブとの交流を通して、幼児期の人間形成をより豊かにすることができます。

4. 姉妹園（茨島にある附属幼稚園・保育園）との交流を通して、子どもたちは友情の広がりや、教師は教育実践の深まりを得ることができます。



附属高校野球部との交流会

指導の重点

- 発達段階に即した教育計画を通じて、ひとりひとりの幼児の豊かな人間性の芽ばえを大切にはぐくみ、伸ばして行きます。
- よい環境を整え、楽しい遊びの中で社会生活の基本を身につけさせ、自主性、自立性等総合的に達成されるよう導きます。
- 基本的生活習慣を身につけ、健康なからだや豊かな心情を調和的にはぐくんで行きます。
- 日常生活の中で、その子どもの適正を正しく見きわめて発達の援助をし、方向付けをしていきます。

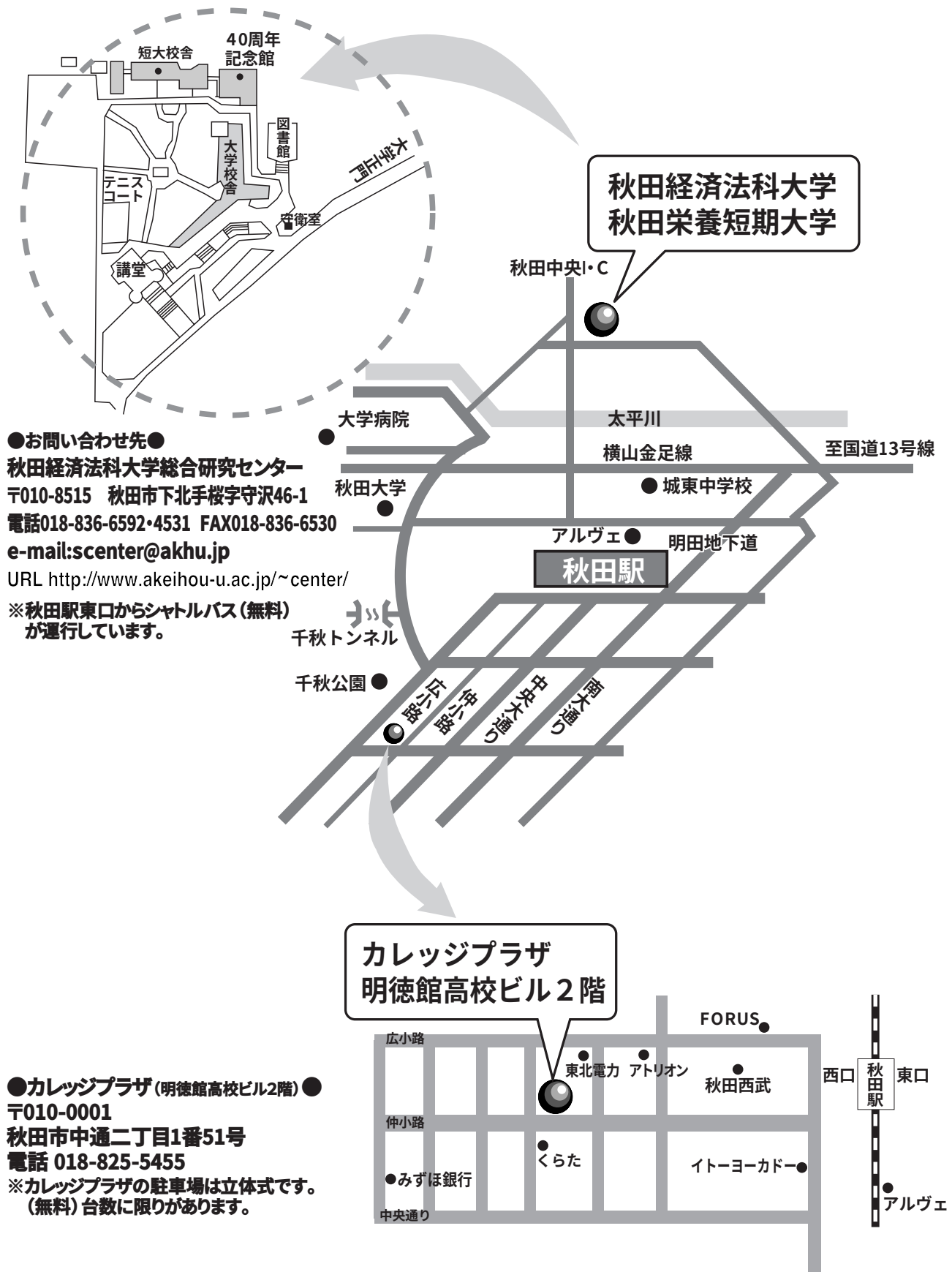


英語あそび（あっ、それ知ってるよ）



運動会や、稲刈り、お楽しみ会等の行事の際に、ぜひ遊びにいらしてください。
なお見学も常時歓迎しております。お気軽にお問い合わせください。

《会場案内図》



後期公開講座 FAX 018-836-6530 ※申込日 平成18年 月 日

フリガナ ※名前		** 経済学部 法 学 部 短期大学				年 学生証番号		
※住所 -								
※電話番号 - -								
No	講 座 名	受講料		※受講希望に○		※受講金額		
1	一周年記念講演会 ①離婚の時代 ②国際的な人の移動と人口減少社会 ③新時代の会社経営	無料						
2	講演会 ①日本の政治・メディアそして秋田 ②新政権の展望・日本そして秋田の未来	無料		①	②			
3	総合研究センター主催 第1回シンポジウム 未来をつくる若者たち	1,000円				円		
4	民俗学講演会・パネルディスカッション 村の変革と民俗 ―急激な民俗の変容から―	無料						
5	21世紀のまちづくり	無料						
7	①親と子のライフデザイン講座（全4回）	2,000円				円		
	②女性のためのキャリアデザイン講座（全4回）	2,000円				円		
	③充実した新年に向けて！タイムマネジメント講座（全2回）	無料						
8	教員をめざす！教員採用候補者試験のための受験講座①（全12回）	本学の学生 無料	一般 3,000円	本学の学生	一般	円		
	教員をめざす！教員採用候補者試験のための受験講座②（全10回）	本学の学生 無料	一般 3,000円	本学の学生	一般	円		
注1 巻末の記入例を参考に※印の欄に必要事項を記入してください。 注2 本学の学生は、**の欄に学部、学年、学生証番号を記入してください。 注3 無料法律相談会については p7 を参照してください。						合計金額		円

FAX用

キリトリ

キリトリ

郵便がき

0108515

50円切手をお貼りになり
投函してください

秋田市下北手桜字守沢46-1

秋田経済法科大学
総合研究センター
シテイカレッジ係

行

公開講座申込

〈お申込はがき・FAX用の記入例〉

例

後期公開講座

※申込日 平成18年 9月 26日

フリガナ	アキハ ハナコ	経済学部 法 学 部 短期大学	年	学生証番号
※名前	秋田 花子	**		
※住所	010-8570			
※電話番号	018-000-0000			
No	講 座 名	受講料	※受講希望に○	※受講金額
1	一周年記念講演会 ①離婚の時代 ②国際的な人の移動と人口減少社会 ③新時代の会社経営	無料		
2	講演会 ①日本の政治・メディアそして秋田 ②新政権の展望・日本そして秋田の未来	無料	① ○ ②	
3	総合研究センター主催 第1回シンポジウム 未来をつくる若者たち	1,000円		円
4	民俗学講演会・パネルディスカッション 村の変革と民俗 ―急激な民俗の変容から―	無料	○	
5	21世紀のまちづくり	無料		
	①親と子のライフデザイン講座（全4回）	2,000円	○	2,000円
7	②女性のためのキャリアデザイン講座（全4回）	2,000円	○	2,000円
	③充実した新年に向けて！タイムマネジメント講座（全2回）	無料		
8	教員をめざす！教員採用候補者試験のための受験講座①（全12回）	本学の学生 無料 一般 3,000円	本学の学生 一般	円
	教員をめざす！教員採用候補者試験のための受験講座②（全10回）	本学の学生 無料 一般 3,000円	本学の学生 一般	円
			合計金額	4,000円

注1 巻末の記入例を参考に※印の欄に必要事項を記入してください。

注2 本学の学生は、**の欄に学部、学年、学生証番号を記入してください。

注3 無料法律相談会についてはp7を参照してください。

※この記入例を参考に下記のお申込はがきとFAX用にご記入ください。

キリトリ

後期公開講座

※申込日 平成18年 月 日

フリガナ	経済学部 法 学 部 短期大学	年	学生証番号	
※名前	**			
※住所				
※電話番号				
No	講 座 名	受講料	※受講希望に○	※受講金額
1	一周年記念講演会 ①離婚の時代 ②国際的な人の移動と人口減少社会 ③新時代の会社経営	無料		
2	講演会 ①日本の政治・メディアそして秋田 ②新政権の展望・日本そして秋田の未来	無料	① ②	
3	総合研究センター主催 第1回シンポジウム 未来をつくる若者たち	1,000円		円
4	民俗学講演会・パネルディスカッション 村の変革と民俗 ―急激な民俗の変容から―	無料		
5	21世紀のまちづくり	無料		
	①親と子のライフデザイン講座（全4回）	2,000円		円
7	②女性のためのキャリアデザイン講座（全4回）	2,000円		円
	③充実した新年に向けて！タイムマネジメント講座（全2回）	無料		
8	教員をめざす！教員採用候補者試験のための受験講座①（全12回）	本学の学生 無料 一般 3,000円	本学の学生 一般	円
	教員をめざす！教員採用候補者試験のための受験講座②（全10回）	本学の学生 無料 一般 3,000円	本学の学生 一般	円
			合計金額	円

注1 巻末の記入例を参考に※印の欄に必要事項を記入してください。

注2 本学の学生は、**の欄に学部、学年、学生証番号を記入してください。

注3 無料法律相談会についてはp7を参照してください。

サ
ン
プ
ル

平成18年度
振込金領収証
総合研究センター

振込み期限 平成18年12月15日(金)									
金 額									
振込銀行		取りまとめ銀行 秋田銀行本店							
受取人		学校法人 秋田経済法科大学							
＊振込人	住所								
	ふりがな 申込氏名								

上記のとおり振込金として領収いたしました。

取扱店出納印

(取扱店 → 振込人)

平成18年度
振込通知書
総合研究センター

振込み期限 平成18年12月15日(金)									
金 額									
振込銀行		取りまとめ銀行 秋田銀行本店							
受取人		学校法人 秋田経済法科大学							
＊振込人	住所 (TEL)	〒 TEL — —							
	ふりがな 申込氏名								

講座名	受講料	取扱店出納印
⑤第1回シンポジウム 未来をつくる若者たち		
⑦ー①親と子のライフデザイン講座		
⑦ー②女性のためのキャリアデザイン講座		
⑧教員採用候補者試験のための受験講座①		
⑧教員採用候補者試験のための受験講座②		
合 計		

(取扱店 → 秋田銀行本店 → 秋田経済法科大学)

平成18年度
振込依頼書

		科目			引換札番号					
取扱日 平成18年 月 日			電 信 扱		送信番号				照合	
先方銀行	取りまとめ銀行 秋 田 銀 行 本 店				手数料				通知	
受取人	預金種目 口座番号	普 通 預 金 8 6 1 5 4 5		金 額						
	学校法人 (住所) (電話)	秋 田 経 済 法 科 大 学 秋田市下北手桜字守沢46-1 (018) 836-6592		内 振 替						
	住 所 (TEL)	〒 TEL — —								
＊振込人				現 通 貨					検印	
ふりがな										
			振 替 科 目	取扱店出納日				受入票		
										受付
	摘要									

＊取り扱い期間は、平成18年9月19日(火)から12月15日(金)までです。

秋田銀行の本支店では、振込手数料が免除されます。

(取扱店保管)



●お問い合わせ先

秋田経済法科大学総合研究センター

〒010-8515 秋田市下北手桜字守沢46-1

TEL.018-836-6592・4531

FAX.018-836-6530

E-mail scenter@akhu.jp

URL <http://www.akeihou-u.ac.jp/~center/>